

第2回四国中央市子ども若者発達支援センター運営審議会 会議録

日時 | 令和5年11月9日(木) 13:30~

場所 | 子ども若者発達支援センター 研修室

出席者

[委員] (敬称略)

委員長 越智寛

副委員長 鈴木秀明

委員 石川千代子、大西由美子、河村英茂、合田真由美、近藤美沙、野本知津子、藤田昌子

[事務局]

発達支援課長 河村正志

センター長 大西緑 (欠席)

- ▶ 管理係 河村清児、加地真大
- ▶ 総合相談係 川崎恭子
- ▶ 発達支援係 森美琴 (欠席)
- ▶ 児童発達支援センター 高橋美樹
- ▶ 東部子どもホーム 森田慎也

欠席者

[委員] (敬称略)

なし

傍聴者

なし

1 開会

課長 前回の開催から早いもので4ヶ月が経った。今回の議事内容は、今年度のこれまでの事業報告や令和7年度に開設予定の児童入所施設に関する事など、盛りだくさんとなっている。本日は公務の為、大西センター長と石川総合相談所長が不在だが、可能な限り対応していくので、委員の皆様には忌憚のない意見をお願いしたい。

委員長 本日も非常にボリュームのある内容であるが、活発な意見をお願いしたい。一つ近況報告をさせていただきたいのだが、皆さんも何か調べ物をする時にはパソコンやスマホを利用すると思う。先日私の知り合いからネット検索をしていた際に変なサイトに行ってしまったと相談を受けた。とても慌てた様子であったが、詳しく話を聞いていると突然パソコンの画面が切り替わって大きな警告音が繰り返し流れ、画面には解決のための連絡先が表示されていたので、ここに電話したら良いかという内容であった。私自身こういったトラブルがあるということは聞いたことがあったため、とりあえずそのパソコンを持ってきていただいた。よく見ると怪しい内容ではあるが、繰り返される警告や画面はいかにも不安を煽るようなものであった。生活に身近な便利なものや当たり前に使っ

ているものについても詐欺の可能性が高いものが流行っているのでお気を付けいただきたい。パソコン関連の仕事をしている人に聞いたが、やはりこの手の相談は増えているようであり、夜間でも対応することが多くて困っているとの事であった。このような問題も事前に知っているのと知らないのでは対処方法が全く違って来るし、どこに相談すれば良いか知っておくと安心できるということをこのケースを通して感じた。これは障がいの有無や大人・子どもは関係ない。皆さんも困ったり悩んでいる方とどう向き合うか、どうすれば解決できるのか、考えていただきながら本日の議論も深めていければと思う。限られた時間の中ではあるが、よろしく願いしたい。

2 議事

(1) 議事 1 令和5年度第1回会議録の確認

事務局 《第1回審議会会議録について説明。内容省略》
委員長 事務局の説明に対し、意見や質問はないか。
委員 特になし。

(2) 議事 2 2023年度事業報告（速報）

事務局 《事業報告（速報）を説明。内容省略》
委員長 事務局の説明に対し、意見や質問はないか。
委員長 それでは私から何点かお伺いしたい。まず、児童発達支援センターの役割として、地域の障がい児やその家族への相談等があるが、支援者に対する支援は何か検討されているものはあるか。
事務局 市内の事業所に対して研修を企画中であるが、実施には至っていない状況である。何か困ったことがあれば相談いただくことは可能である。
委員長 本日の資料にペアレントメンターがあるが、これはどういったところに配布や掲示などで周知したのか。以前市内の精神科病院の方からペアレントメンターに関して何か活動をしているのか相談されたことがあるので、もししてないようであれば医療機関の方にも周知をお願いしたい。
事務局 パレットのロビーへの設置や市内保育園・幼稚園等への配布のほか、市報10月号やフェイスブックへの掲載により周知を図っている。医療機関には配布していなかったので検討したい。
委員長 もうすぐ医療的ケア児等コーディネーター養成研修が開催されるが、今年度は四国中央市からは誰か受講予定はあるのか。
委員 うちの職員が受講予定である。2年に1回の研修だが、令和3年に申し込んだときは人数調整の関係で受講できなかった為、今年は優先的に希望を聞いてくれた。
委員 検査についてだが、組織図によるとパレットの知能検査の検査員は2名ということが良いか。
事務局 お見込みのとおり知能検査の検査員は2名である。

- 委員 この報告にある検査というのはその他にも検査員がいて複数人で検査しているのか。また実施している検査は WISC-V か。
- 事務局 感覚統合等の検査は別の者が行っているが、大半は 2 人の心理士による知能検査である。検査は今年度は全て WISC-V で行っている。
- 委員 個別療育の説明の中で、感覚統合療法や構音指導などを行っているということであるが、対応している指導員は何人か。また現在の契約人数は 13 人となっているが、もし今後必要な方がいれば受け入れは可能なのか。
- 事務局 指導員は感覚統合、構音指導、ソーシャルスキルトレーニングなど各 1 名で対応している。現在契約している 13 名中感覚統合は 10 名、構音指導が 1 名、ソーシャルが 2 名という内訳になっている。感覚統合に関しては 1 人で対応しているので一杯の状況である。構音指導は 1 名だが、児童発達支援センターと兼務なのでそちらとの相談が必要になる。ソーシャルの方はまだ相談に応じて対応は可能だと思う。
- 委員 この資料にあるような利用状況の数よりは、先程口頭で説明していただいた内容の方が状況が分かりやすく実状が見えてくる。それを資料として示せないか。
- 事務局 どの時点での数字を書くかにもよる。今回は年度途中での報告であり、現時点での状況を報告させていただいている。最終の実績報告は多くの方に見ていただくようになるが、今はまだ変動もある。その辺りをどう表現するかもあり、どうしても一般的に受けるような書き方になっている。
- 委員 34 ページに児童発達支援センターの小集団の時間の流れがあるが、給食はどうしているのか。パレットで食べているのか。またどこから調達しているのか。
- 事務局 保育園等に在籍している方はそれぞれの所属機関で食べており、未就園児は希望者となっているが、給食費がかかるので遠慮する方もいる。現在は火曜日に 3 組、金曜日に 2 組が利用している。給食は中曽根保育園から配送している。
- 委員 5 歳児アンケートの件数が減っているのはどうしてなのか。
- 事務局 アンケートは 5 歳になる年の誕生月で配布しているため、上半期の速報では年によって差が出ることもある。最終的には年間の件数で報告させていただく。

(3) 議事 3 障害児入所施設

- 事務局 《障害児入所施設について説明。内容省略》
- 委員長 事務局の説明に対し、意見や質問はないか。加えて資料が送付されてきたときにも書かれてあったが、皆さんの中で設備の建物やそれ以外のところで要望したいもの、お伝えしておきたいことなど、何でも構わないので、もしあればお願いしたい。
- 各委員 特になし。
- 委員長 今日この場では意見が出なくても、持ち帰って考えると何か気付いたり、思い付いた事があれば、後からでも電話やメールなどでお伝えすれば聞いてもらえるのか。
- 事務局 ご意見やご要望は随時聞かせていただきたいと思います。11 月下旬に PT の会を開く予定である。できれば 11 月 17 日金曜日までをお願いしたい。

委員 今回のこのアンケート結果は設計に反映されるのか。

事務局 前回基本計画をお示しさせていただいたが、その中で既に決まっている部分や大枠の部分は難しいが、建物の設備や運用面など、細かい部分で決まっていないものに関しては反映させることは可能である。できるだけ皆さんのご意見は取り入れていきたい。

委員 日中一時について、受け入れてもらえる日や曜日はどうなるのか。祝日など一般的にはお休みの日であっても対応してくれるのか。

事務局 現時点では必ず出来ますとは言いきれないが、要望ではやはり土日が多い。職員体制も含めて前向きに検討したい。

委員 それに関連して、預かってもらえる時間はどうなのか。

事務局 そこも現在検討中であるが、可能な限り対応できるようにしたい。

(4) その他

①「第9回市民ミュージカル」について

事務局 《第9回市民ミュージカルについて説明。内容省略》

委員 意見・質問なし。

②「教育支援センターあおぞら」について

事務局 《教育支援センターあおぞらについて説明。内容省略》

委員 意見・質問なし。

③「ペアレントメンターCafe」について

事務局 《ペアレントメンターCafeについて説明。内容省略》

委員 意見・質問なし。

④次回の開催予定について

事務局 《審議会の開催予定を説明。内容省略》

委員 意見・質問なし。

⑤質問事項について

委員長 全体を通して最後に何か質問事項などはないか。

委員 アンケート調査について、入札で設計業者が決まったということだが、今回のアンケート結果を回答してくれた人に報告すべきではないか。予算の制約もある中なので仕方ない事かもしれないが、せっかくアンケートに答えて希望も書いたのに実現しないものもあるという事なので、対応として大丈夫なのか心配である。

事務局 確かにせっかく意見をいただいても難しい部分もある。無記名で回答をいただいているのでどのように返すかというのはあるが、設計で作るようになったものを全体にお返しするようになると思われる。このような施設を作るにあたって、相談支援専門員や利用者からの目線など、こちらだけでは気付かないきめ細かいところの意見をいただきたい

ため、アンケートさせていただいた。

委員長 アンケート結果は公開する予定はあるのか。

事務局 非常にデリケートな部分も多く、その辺りもどこまで出せるか難しいところもある。PT
でご意見をいただきながら進めていきたい。

4 閉会

副委員長 毎回振れ幅の大きい会だが、いつもいろんな意見が出る中でこの会はすごく大事だと感じている。配布資料にある『晴れときどき不自由』の市民ミュージカルについてだが、現在社会福祉協議会のココロンに来ていただいているある利用者さんがいて、地域のグループホームから毎日通っている。その方もこのミュージカルに出るのだが、最初の頃、週のうち2日ココロンに来て、3日は太陽の家に行くとなったときに、目を吊り上げて怒ったことがあった。それは決して太陽の家が嫌だったのではなく、単純にココロンの方が良かったからであった。ある時その方が隣にいた時に「明日雨じゃなあ」と言ってきた事があったのだが、その方と天気の話をするのがとても新鮮に感じた。それはこれまでの施設での暮らしの中で、職員さんとの深い関わり合いがあって、そういった時節柄の会話や普段からいろいろなさっていたことがあるから、そういう会話が生まれるのだと思った。今は市役所の交流棟で一緒にうどんを出したりもしているが、入所施設にずっといた方がこうやって私たちや地域の人と関わっているという事が日常であると思うと、今までがすごく勿体なかったのではないかと思ってしまう。今回の入所施設も、もちろんそこが住みやすくないといけないし、帰りたくないなんて言われないような施設でないといけないのに加えて、普段から地域との交流があるような施設になってほしいと思う。